

国連憲章に違反するロシア軍はウクライナより撤退を 禁止条約を力に、日本政府に禁止条約の署名・批准を 2022年原水爆禁止国民平和大会 5月24日（火）みなべ町集会・平和行進。



左から白井さん、森さん、市民生協の職員の方です。

左から小谷芳正みなべ町長、原田覚みなべ町議会議長、池田三千留町議です



平和行進です。宣伝カーの運行は、川口武さんです。

5月24日（火）晴れ。平和行進はみなべ町です。集会前、池田三千留町議と白井春樹県実行委員会は町長、議長と懇談します。被爆者支援募金箱を交換します。募金箱1階フロアに置かれています（左写真）。

集会は和教組みなべ地区協の森幹子さんの開会挨拶で始まります。県実行委員会からは白井さんが「核共有を声高にいつてる人たちは、日本の核武装も想定します。…日本は核不拡散条約（NPT）批准国ですので核兵器は持ってません。この条約を破れば、唯一の戦争被爆国、憲法9条を持つ日本の平和ブランドは地に落ちます」と挨拶。小谷芳正町長、原田覚議長挨拶です。小谷町長は「南部川村の医師で8月16日ナガサキに行かれた方の話しを聞くなかでやっぱり戦争は二度とやってはいけないと思った」と体験を語られました。原田議長は「コロナ禍での平和行進の是非を相談され、是非やりましょうと答えた」とエピソードを紹介しました。みなべ町職員も30数名います。池田三千留町議は「みなべ町議会はロシアのウクライナ侵略を批判する決議を全会一致で採択しました。…ロシアは核兵器を脅しに使っています。核兵器があるから脅しに使われます。みなべ町の核兵器廃絶平和宣言を発展させ、ヒロシマ、ナガサキを繰り返さず核兵器のない世界の実現の為、平和行進を広め、伝えていきたい」と連帯挨拶をしました。集会最後、わかやま市民生協の職員の方の決意表明です。平和行進・横断幕を持った町長、議長と記念撮影です（上写真）。その後、平和行進は町内を歩きました。

本日、西牟婁・白浜町です。

県事務局